元気のヒ・ケ・ツ　2019年9月発行

足立の商人・創人

【編集・発行・問先】
足立区産業経済部産業振興課
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム
3880－5865（直通）

足立区農業委員

足立区鹿浜
鹿濱　徳雄さん（65歳）

「農業は難しいけど、
それが面白い！」

長年足立区伝統のツマモノを栽培しながら、農業の発展や子どもたちの未来のため精力的に活動されている鹿濱徳雄さんの「元気のヒ・ケ・ツ」をお伺いしました。

鹿濱さんの「元気のヒ・ケ・ツ」を3つにまとめると・・・
① いいものができたときの喜び
② 家族との絆
③ 困難も前向きに楽しむ心

鹿濱さんのインタビュー、どうぞご覧ください！

お仕事について教えてください。

うちはツマモノ農家です。農業の道に進もうと決めたのは、父が体調を崩したのがきっかけです。当時私は大学2年で、中退してすぐにでも手伝うと言ったけど、それは親父に止められて。結局、大学卒業後に本格的に農業を始めて、44年目になります。

大学の同期の中で、農家になったのは私一人。心理学を勉強していたけど、それを活かせる場面はなかなかないね（笑）。でも、一生の仲間ができたから、よかったと思っています。

農業以外では、「東京都私立中学高等学校父母の会中央連合会」の会長を務めています。公立学校と私立学校の格差の是正を働きかける活動をしています。

主な農作物について教えてください。

ムラメとツルナは一年中、春はナノハナ、6月からはアユタデを豊洲市場へ出荷しています。若い時には、うちの畑から当時の築地市場まで自転車（！）で運んでいましたよ。

ツマモノは一般に馴染みがあるわけじゃないし、単価は比較的高いけど、つくるのに技術がいる。でも、それがツマモノ栽培の面白さだと思うんです。他の野菜だったら、農業を継いでいなかったかも（笑）。

（写真左上）
料亭の椀物によく使われる、ツルナの収穫の様子。葉先を一つひとつ、専用のハサミで丁寧に切り取る繊細な作業です。

（写真右下）
刺身のツマとして使われるムラメ。鮮やかな紫色が特徴。「葉の表も裏も紫のムラメが、いいものなんです」（徳雄さん）

農業を営んでいて、よかったと思う体験、苦労した体験は？

農業を始めたばかりのころは、暑さと寒さがしんどかったですね。年を追うごとに慣れてきたけど、ここ数年の暑さは厳しいね。夏の時期は朝4時に起きて、暑くなる前に収穫を済ませて、暑い時間は休むようにしたり、工夫しています。

よかったと思える瞬間は数多くあったけど、直近で一番よかったのは、息子（雅友さん）が一緒に農業をしてくれるようになったことですね。

ムラメを栽培しているハウスで、息子さん（右）との2ショット！

息子さんと一緒に農業をするようになって、大きく変わったことは？

二人で相談しながら決めることができるようになったのが一番大きいですね。長年やっていると、農業の仕方が固定化されてしまう。息子は金融機関で働いていたので、農業の経験はまったくなかったんです。でも、そんな中で自分から一緒にやりたいと言ってくれて。違う視点から新しいアイデアを言ってくれるので、非常に新鮮だし、面白いですね。

（写真左上）
昨年から挑戦しているアスパラ。こんなに小さい芽が・・・

（写真右下）
1年でこの大きさに！
「来年ぐらいにはJAの直売所に出荷できるかな」
（徳雄さん）

お二人での作業風景。「親子」というよりも「仕事仲間」として、お互いを尊重しているのが会話の端々から伝わってきます。

お忙しい毎日ですが、元気のヒケツは？

自分で育てて、いいものができたときの喜び、これは何物にも代えがたいですね。農作物は、手をかけてやればそれだけいいものができる。もっとも、市場に出すと、出荷時期や流通量に左右されるから、いいものが高値で売れるとは限らないし、反対にうまくいかなかったからといって安いかといえば、そうでもなかったりする。難しいけど、それもまた農業の面白さのひとつだと思うんです。

プライベートでは、ゴルフが好きです。うちが所属している出荷組合が週休二日制を導入したので、休みの日にはよく気分転換で行きます。もちろん農家仲間とも行くし、学校の先生や、息子と二人でも行きます。ゴルフそのものよりも、一緒にコースを回るなかでいろいろな話をできるのがいいし、刺激にもなりますね。

2歳になる孫がよく畑に遊びに来てくれるので、孫との時間も大切にしています。

足立の農業の今後についてひとこと。

どこの農家も後継者不足に悩む中で、相続等をきっかけに農地がなくなっていくのは、仕方ないのかなと思います。

農産物の単価が上がって、収益を得られるようになれば、若い人にとっても魅力的な仕事になると思います。実際にやってみれば本当に楽しいことがわかると思うし、ぜひ若い人と一緒にやりたいですね。

～編集者より～

インタビューや息子さんとのやり取りから、ご家族に対して深い愛情をもって接していらっしゃるのが印象的でした。一方で、どんな困難もプラスに捉え、楽しみながら面白さを見つけていく姿は、非常に力強く感じました。

ご家族への優しさと、逆境に立ち向かう力強さが、鹿濱さんの元気のヒ・ケ・ツ！